

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方についてセンター方式を取り入れながらアセスメントの充実を図りチームでプランを作成する。	入居者本人の言葉を引き出せるように、またその人らしい暮らしができるように支援したい。	日々の介護記録に発話や気づきを記録していく。また、家族に関わっていただくことにより日々の充実を本人中心に家族、職員とチームでおこなっていききたい。	24 ヶ月
2	54	○居心地の良い共用空間づくり レクリエーションや行事を通じて共用空間における入居者個々の居場づくり	日常の中で季節を感じられるよ製作物等に取り組むときに個々のアイデアを引き出せるような居心地のよい空間、関係をつくっていききたい。	レクリエーション・制作物・行事を通じて特定の入居者だけでの関係だけでなく他ユニットとの交流する機会を入居者・職員とで話し合いながら行っていききたい。	6 ヶ月
3	46	○便秘予防と誤嚥防止	誤嚥予防と自然排便ができるように支援したい。	個々に応じた水分補給の工夫と食事前に行っている口腔体操に加え腹部セルフマッサージを行っていただく。出来ない場合は職員が補助して行う。	12 ヶ月
4	37	○災害対策	昼夜を問わず非常災害時に自動通報装置の操作や避難できる体制を全職員が身につける。	自動通報装置の操作を身に着けるために通報訓練の回数を増やしていききたい。また、消防署や地元消防団員の方と訓練ができるようにしていききたい。	24 ヶ月
5					ヶ月